

北日本新聞（2015年 2月1日 掲載）

顔 face



坂田^{さくら}賢さん。射水ロータリークラブが開いたジュニア卓球講習会で、射水市内の小中学生に卓球の基本を指導した 【23面】

基本大切に強くなろう

射水RC 小中学生の卓球講習会



中学生に卓球の基本を指導する坂田さん（左）

【射水】

射水ロータリークラブ（片口宗久会長）は31日、射水市アルビス小杉総合体育センターで、市内の小中学生を対象にジュニア卓球講習会を開いた。同クラブ会員で、2000年とやま国体に県代表として出場した坂田賢さん（40）＝射水市一条（小杉）＝が、基本の大切さを指導した。

坂田さんは中国・河南省出身で6歳から卓球を始めた。日本の高校、大学に進み、選手として活躍した。05年に日本に帰化した。同クラブは会員に坂田さんがいることから、青少年育成事業として今回初めて講習会を企画した。市卓球協会（長谷部志朗会長）が後援した。

講習会には卓球部のある小杉、小杉南、大門、射北の4中学校と小学生のクラブチーム2チームから約130人が参加した。

坂田さんは強くなるには下半身を使うことが基本だと指摘、「足をしっかり固めて、おなかに力を入れて腰を安定させる。ラケットは後ろに引かない。体が自然に動くように素振りをたくさんしてほしい」などとアドバイスした。参加者はアドバイスに従ってフォア打ち、バック打ちでラリーを続けた。

小杉カントリークラブで食事会もあった。同クラブは卓球のボール1200個を参加した学校、チームに贈った。